

太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第15号 平成19年10月

50mの高さになりました!

本号の内容

- 本体コンクリート工事の様子
- 事業説明会を開催
- 環境対策連絡会を開催
- 湖面橋の名称が決定
- 親と子のダム見学会を開催
- 企業局からのお知らせ
- もりまち昔話②



平成19年9月30日現在で、本体コンクリート工事は、完成時の高さ70mのうち約50mまで打ちあがり、コンクリートは、全体24万 m^3 のうち約80%の19万 m^3 を使用しました。平成20年3月にコンクリート工事が完了し、管理設備、取水放流設備等の整備を進めていく予定です。

ダムサイトの様子



平成19年8月撮影



コンクリート工事の様子

コンクリート工事は暑い昼間を避け、夜に行っています。多いときのコンクリート量は800 m^3 にもなり、作業時間は10時間を越えることもあります。1回に打ち込むコンクリートの厚さは75cmです。

太田川ダム関係事業説明会を開催（5/12）



森町ミキホールにて、約150人の参加者の皆さんに事業の進捗状況の報告をした後、意見交換を行いました。意見交換ではダムの安定性、水質、周辺環境整備について質問がありました。

第11回環境対策連絡会を開催（6/20）



午前中はダム本体工事、道路工事、伝倉沢残土処理場等を視察しました。午後は森町中央体育館で、猛禽類、貴重植物のモニタリングと環境対策の実施状況を報告し、ダム事務所が提案する今後の工事とモニタリング計画、環境対策実施計画が併せて了承されました。

連絡会員は学識経験者、地元、行政、工事関係者で構成しており、聴取した意見は、工事における環境対策に反映していきます。

湖面橋の名称が『かわせみ橋』に決定（7/7）



太田川ダム上流に建設中の湖面橋の名称が「かわせみ橋」に決定しました。森町在住の勤の方々に公募し、223通の応募から選考しました。

かわせみ橋は太田川ダムの建設により、新しくできる湖にかかるシンボルであり、ダム湖周辺の散策道としての活用も期待されており、来年1月に開通式を行なう予定です。

また、今後はダム湖の名称を公募します。予定が決まり次第、お知らせしますので、是非、応募して下さい。

親と子のダム見学会を開催（7/25, 8/7）



見学会を開催したところ、99人もの多くの方に参加していただきました。午前には、コンクリート工事が最盛期を迎えているダム建設現場で、実際に稼働している重機を見て、その大きさ、機能などを実感しました。また、ダムに投入するコンクリートがどのように作られているかを、工事設備を見学して勉強しました。午後は、自然の素材を使って水鉄砲などを作ったり、太田川の清流で川遊びをし、夏休みの思い出の1ページになりました。

静岡県企業局からのお知らせ

全国一安い水道用水を供給します。（3年連続）

平成17年3月26日より遠州水道の料金値下げ（中遠系47円及び湖北・湖西系73円を45円に統一）を実施したところ、県企業局が市町に対して供給する県内3水道（駿豆・榛南・遠州）の平均料金が1㎡あたり46.75円となりました。これは水道用水供給事業を行う23府県の平均料金よりも約38円安く、平成17年から3年連続で全国一安い料金です。

平成19年4月1日現在（県企業局調べ）

順位	都道府県	料金
1	静岡県	46.75円/㎡
2	愛知県	55.59円/㎡
3	長野県	56.16円/㎡
全国平均		84.29円/㎡

「おいしい水道水」をPR

8月1日の「水の日」にJR浜松駅や三島駅などでPRキャンペーンを実施し、水道水のペットボトルを配布しました。配布したペットボトルは、企業局が供給している水道水で、「天竜川の水」（遠州水道）と「柿田川の水」（駿豆水道）の2種類です。

企業局は、安全でおいしい水道水を供給しています。

水質項目	おいしい水の要件の主な項目	天竜川の水 (遠州水道)	柿田川の水 (駿豆水道)
蒸発残留物	30~200mg/ℓ (100mg/ℓ程度がまろやかです)	75mg/ℓ	115mg/ℓ
硬度	10~100mg/ℓ (50mg/ℓ前後が好まれます)	47mg/ℓ	49mg/ℓ



(注)平成18年度の年間平均値



磐田駅でのペットボトル配布状況

遠州水道増設事業

遠州水道増設事業は、水道水の需要が増加する遠州地域の4市2町に対して、既設（天竜川と都田川から取水）の水道用水224,700㎡/日に加え、太田川等を水源とする67,400㎡/日を提供するための施設を増設する事業です。

この太田川からの取水により、水源の多元化と相互融通が可能となり、渇水時や地震時等の異常時にも、より安定的な水道水の供給が可能となります。

もいまち昔話 《第2話》 「銚子の淵の大蛇」

友田家から片吹に至る吉川は、釜淵、雷淵、銚子の淵、岩淵、長淵と多くの淵や瀬が連続する深い渓谷になっています。その中の銚子の淵には、亀久保地区の水神と崇められていた大蛇が住んでいました。

日照りが続くと、村の人たちは銚子の淵に集まって雨乞いをし、大蛇に雨を降らせてもらおうようお願いをしました。銚子の淵の川下で、女の人の赤い腰巻を洗い清め、「神さま、どうぞ恵みの雨をお願いします。」とお祈りするのが雨乞いときの慣わしでした。

大蛇はこれを見ると「今年も雨が少なくて、みんな困っているな。よし、雨を降らせてやろう。」と言って、数日のうちには必ず雨雲が天を覆い、程よい雨が田畑を潤してくれるのでした。



※地元の伝承から創作したものです。



吉川渓谷



銚子の淵

日照りに困ったある年、いつものように村人が銚子の淵に集まって雨乞いをしました。このとき、淵を間違えて大蛇が住む淵の上流で腰巻を洗ってしまったのです。大蛇は「わしが住む淵の川上で腰巻を洗うとはけしからん。臭くてかなわん。」と大変怒って、銚子の淵と通じている隣村の川根にある野守の池へと逃げていってしまいました。

その年は日照りが続いて、米やアワ、ヒエがまったく採れず、食べるものがなくて困ってしまいました。村人たちは「このままでは生きていられない。水神様に帰ってきてもらえるように、みんなでお願いしよう。」と相談しました。それから毎日のように村の人たちが、大日山の峠を越えて野守の池に行つて、銚子の淵に大蛇が帰ってきてくれるように、池の周りでお願いしました。

通いはじめて半年あまりがたったある日、ようやく願いが叶い、大蛇が銚子の淵に戻ってきてくれました。それからは、農作物に必要なときに雨が降るようになり、五穀豊穡となって村人たちを大いに喜ばせました。

内容についてご質問等 ございましたら・・・

静岡県太田川ダム建設事務所

〒437-0215 静岡県周智郡森町森1582-1
TEL:0538 (85) 2025 FAX:0538 (85) 0885
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/ootagawa1/index.html>
e-mail:otagawa-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県企業局水道室(水道関係について)

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054 (221) 2167 FAX:054 (251) 5381

太田川ダムを見学してみませんか?

地域を守るダムが、どのように造られていくのか、是非、現場でご覧ください。

(申し込み方法)

お電話でお申し込みください。

太田川ダム建設事務所 工事課企画調査係

電話 **0538 (85) 2025**

※平日に10名以上の団体で受け付けています。

